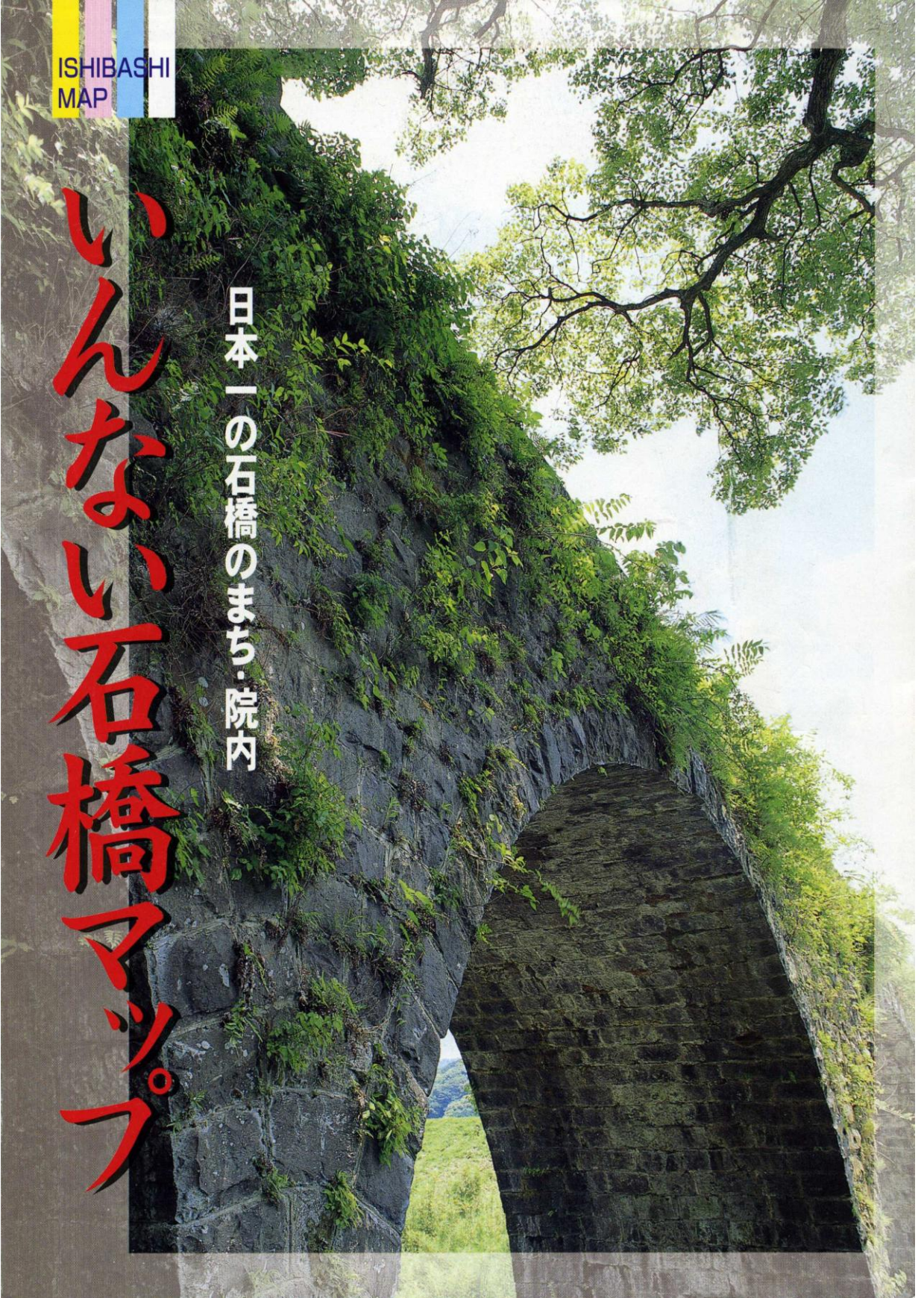


ISHIBASHI
MAP

いんない石橋マップ

日本一の石橋のまち・院内



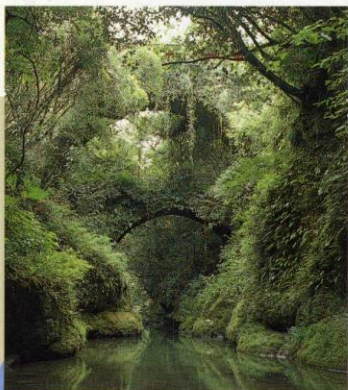
日本一の石橋のまち
いんない石橋マップ

積み重なる匠の技とロマン



鳥居橋 TORII-BASHI

すらっと天に伸びた優美な橋脚、気品さえ感じる院内の代表的な石橋です。「石橋の貴婦人」とも呼ばれ、深い谷に点在する集落を5連のアーチがリズムカルに結んでいます。
(夜間ライトアップ)



打上橋 UCHIAGARI-BASHI

現存する院内の石橋のなかで最も古い、江戸時代末の文久3年に架設された石橋。橋の下には、打上水路橋が架けられています。



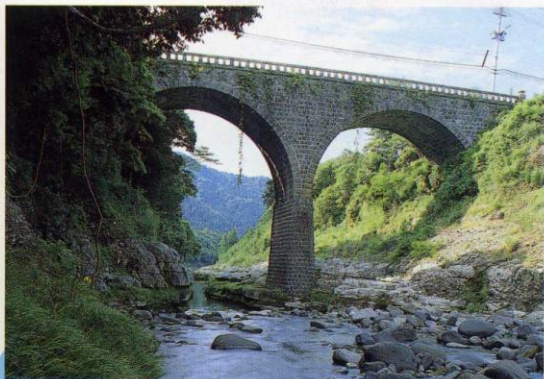
両合川橋 RYOIGAWA-BASHI

棚田の広がるのどかな景色にとけ込んだこの橋は、小平と滝貞の谷川が合流する地にあるため、この名で呼ばれるようになりました。



久地橋 KYUCHI-BASHI

両端を大桁の石2本で渡し、厚さ15cmの重厚な板石が16枚も並べられた、県下でも非常に珍しい桁橋です。



荒瀬橋 ARASE-BASHI

町内の2連アーチの中で、最も美しいめがね橋です。高さも町内一を誇り、橋のたもとにある公園から石橋を見上げると、めがねの部分から緩やかな山並みが望めます。

(夜間ライトアップ)



分寺橋 BUJI-BASHI

町内では比較的新しく、昭和20年に架設された3連のアーチ橋です。戦争の真っ最中に建設されたにも関わらず、均整に彫刻された石がていねいに積み上げられています。

(夜間ライトアップ)



御沓橋 MIKUTSU-BASHI

橋の長さが59mと、町内最長を誇る3連アーチ橋。大正14年に架設されたこの橋は、当時のモダンなセンスが活かされています。川面に映しだされた姿も幻想的。

(夜間ライトアップ)



富士見橋 FUJIMI-BASHI

橋の上に立つと豊後富士(由布山)が遠くに見えることから、この名がつけられました。この橋は工事半ばに崩落。名棟梁・松田新之助が、私財を投じて完成させたという逸話を持っています。



一の橋 ICHINO-HASHI

山神社への参道で、北山川に架かる石橋です。規模は小さいながら整い、緑豊かな周囲の景色になじんでいます。



福厳寺羅漢橋 FUKUGONJI-RAKAN-BASHI

十王像や羅漢像、牛頭・馬頭像、観音像などが安置された福厳寺の閻魔洞へつながる参道にかけられた石橋です。



西光寺橋 SAIKOJI-BASHI

この橋は、江戸時代末に建立された西光寺(現在は廃寺)の参道として使われてきました。側壁は、自然石を使用しています。

いんないの特産物と情報を満載

石橋ステーション

ふるさとのまごころ発信



オオサンショウウオが
おでむかえ



まごころのこもった特産品や、山の幸をつかったレストラン。
ここから、院内のホットな情報を発信します。

日本の生息地の南限として、院内町に生息するオオサンショウウオ。国の特別天然記念物にも指定され、「生きた化石」と言われています。つぶらな瞳がかわいいオオサンショウウオが、このステーションでも見られます。

■石橋ステーション

院内めぐりは、まずここで情報収集を。石橋の解説やパンフレットなど、院内の豊富な情報を発信しています。また、おみやげに最適な朝採りの新鮮な野菜や果物をはじめ、院内の特産ゆずをつかった品々など、真心のこもった逸品を満載。レストラン柚子の里では、地鶏や猪肉、山菜など、豊かな山の幸をふんだんにつけたメニューが人気です。

石橋ステーション

TEL・FAX(0978)42-5539

営業時間/9時から18時(3月から10月までは19時まで)
定休日/第2・4月曜日、祭日の場合は翌日
(石橋ステーション・柚子の里ともに)
院内町大字副1381の2

日本一の石橋のまち・院内

地勢と水系と匠たち

その数75基。院内町は日本一を誇る石橋のまちです。これらの石橋は、江戸時代の終わりから昭和のはじめにわたって架けられました。

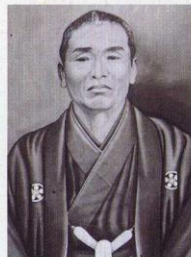
院内町に石造アーチ橋が多いのは、いくつもの深い谷に集落が点在するという地形上の理由と、川が急流で、木橋では流されてしまうため石橋が求められたという背景があります。もともと院内では谷あいの段々畑を区切る石垣や水路をつくるため、石工の技術が男たちに必要とされていました。名棟梁・松田新之助に代表される優れた院内の「匠の技が」、「日本一の石橋のまち」をつくった大きな力となったわけです。

ふだんは足元にあつてなかなか気づかない石橋。そのドラマは、ただ橋を渡っているだけでは見えないでしょう。視点を換え、たもとからじっくりと見上げたとき、石橋はわたしたちに語りかけてくれます。…石橋のアーチは、人と人をつなぐふれあいのアーチであるということ…

●石橋づくりにかけたロマン

鳥居橋や荒瀬橋など、院内を代表する石橋を10基以上も架けた名棟梁・松田新之助(1867～1947)。彼は父の土木工を手伝うため関西でアーチ設計の技術を学び、帰郷した後は、院内の地形にあった石造アーチ橋の架設に情熱を注ぎました。

1924(大正13)年、架設中の富士見橋が、突然大きな音とともに崩落。しかし新之助は私財を売り払い、名工としての意地と信念で再び架設、翌年には見事に富士見橋を完成させました。石橋づくりに生命を燃やした「石工の魂」を伝えるエピソードは、今も私たちの胸をうってやみません。



(石橋シンボルマーク)

大分県院内町

日本一の石橋のまち・院内へは

- JR日豊本線宇佐駅より車で25分
- 北大道路院内インターチェンジ出る
- 大分自動車道玖珠インターチェンジより車で30分(国道387号線経由)

発行/院内町教育委員会 生涯学習課
大分県宇佐郡院内町山城32

TEL:(0978)42-6321

FAX:(0978)42-5231

印刷/佐伯印刷株式会社